

# 八戸工業大学 第6回 LCA フォーラム 開催のご案内

## LCA を考慮した北東北における地域防災と維持管理に関する研究

### < 構造物耐久化チーム >

主 催：八戸工業大学北東北地域防災耐久化研究会  
共 催：八戸工業大学工学部 土木建築工学科  
日 時：平成 22 年 11 月 12 日（金） 15：00～17：30  
場 所：東奥はちのへホール（多目的ホール）  
〒039-1114 青森県八戸市北白山台 5-2-5  
TEL 0178-70-2311 FAX 0178-70-2312  
<http://www.toonippo.co.jp/too8hall/index.asp>  
参加費：無料

### プログラム

司会 八戸工業大学大学院 工学研究科・准教授 阿波 稔  
15：00～15：05 開会挨拶 八戸工業大学大学院 工学研究科・教授 月永洋一  
15：05～16：20 講演 『コンクリート構造物のひび割れの原因・影響・抑制対策』  
講師 徳山工業高等専門学校 土木建築工学科・教授 田村隆弘  
休憩（10分）  
16：30～17：30 講演 『ひび割れ抑制対策による表層品質（かぶり）の向上』  
講師 横浜国立大学大学院 環境情報研究院・准教授 細田 暁  
17：30 閉会

参加申込み先 問い合わせ先	八戸工業大学大学院工学研究科土木工学専攻 阿波 稔 〒031-8501 八戸市妙字大開 88-1 FAX：0178-25-0722 E-mail：aba@hi-tech.ac.jp
------------------	--

参加申込み	
11月5日（金）までに FAX（本紙をそのままご使用ください）または E-mail にてお申込みください	
ご氏名	ご所属・ご連絡先（FAX または E-mail）

## フォーラムの趣旨

ひび割れはコンクリート構造物にとって古くからの課題であると同時に、宿命的な現象であるといえます。それは、コンクリートの引張強度が圧縮強度に比しておおよそ 1/10 程度しかなく、断面に生じる引張応力によってひび割れが容易に発生するためであり、材料、設計、施工、維持管理の善し悪しによって、構造物の施工時や供用期間のいずれの段階でも発生する可能性があります。特に、コンクリート構造物を建設する際、すなわち、現場でのコンクリート打設とその養生は、施工段階におけるひび割れ発生と大きく関係しています。そして、そのようなひび割れは、構造物の耐久性や機能性といった構造物の最終的な品質を決定することになると考えられています。

近年、山口県では施工段階で発生するひび割れ問題に産官学が連携し、真摯な取り組みが進められています。具体的には、コンクリートの打設管理記録に基づいた膨大な施工・品質データより、材料、施工および構造の観点から総合的なひび割れ抑制対策に関するガイドラインを作成し、大きな成果を上げています。また、これらの取り組みは全国的にも注目されており、(社)土木学会が行った調査により、実施されたひび割れ抑制対策が結果として表層部コンクリートの品質向上にも寄与している可能性が指摘されています。

そこで、本フォーラムでは山口県の先進的な取り組みを踏まえ、コンクリート構造物のひび割れの原因や影響、抑制対策、さらには表層品質（かぶり）の向上に関する技術講演や意見交換を通じて、最新、かつ実践的な知見を修得することを目的とします。

## 講師紹介

**田村隆弘 徳山工業高等専門学校 土木建築工学科・教授**

学位等：博士（工学）、技術士（建設部門）

最終学歴：徳山工業高等専門学校 土木建築工学科

主な研究テーマ：鉄筋コンクリート部材の耐荷力・破壊メカニズムなどに関する研究を進めてきた。近年は材料も含めたコンクリート工学全般に関する幅広い研究をしている。平成 14 年 12 月から「コンクリートよろず研究会」を立ち上げ、コンクリートに関する様々な問題について行政機関、企業（施工業者、セメントメーカー、生コン関係）・大学等の技術者・研究者による勉強会を行っている。

**細田 暁 横浜国立大学大学院 環境情報研究院・准教授**

学位等：博士（工学）

最終学歴：東京大学大学院 工学系研究科社会基盤工学専攻

主な研究テーマ：コンクリートのひび割れや収縮、表層品質に関する研究を行っている。特に、膨張コンクリートのひび割れ抵抗性、合成短繊維によるコンクリートの収縮ひび割れ抑制に関する研究は、学会で高く評価されている。最近ではひび割れ自己治癒コンクリートや表面含浸材などの研究も進めている。若手、新進気鋭の研究者である。